学校園 (小学校3年)

「花壇にスミレを植えて育てよう」

1. 授業の実際 授業校 指導者

- (1) 単元名 花だんにスミレを植えて育てよう
- (2) 本時の目標
 - ・千葉市で生産される花について知る。
 - ・スミレの苗の植え方を知り、苗を傷めないように花壇に定植することができる。

(3) 本時の展開 (2/2)

学習活動と内容	教師の支援	教具
 本時の活動を確認する。 千葉市で生産される花について知る。 ・千葉市で花をたくさん作っているんだ。 	○「花育」の学習で、千葉市園芸協会やボランティアの方と植えることを知らせる。○生産者の花作りへの思いに気付かせる。(講師の方の話)	苗
花壇にスミレの花を植えよう		Ш
	○講師の方の話に注目させる。○苗のポットを見せ、取り扱いの 注意点がわかるようにする。	苗
3 スミレの苗の植え方を知る。・苗のポットを優しく持つ。・根を傷めないように手を添えればいい。・移植ごてでちょうどあう大きさに土を掘る。	○花壇の面積に応じて苗の数が変わることを知らせる。○全体のイメージが捉えられるようにする。○移植ごてで印を付け、植える位置をはっきりさせる。	移植ごて
 4 スミレの苗を植える位置を決める。 ・縦、横の長さからいくつ植えられるか考える。 ・縦4、横8でちょうどいい。 ・決まったら移植ごてで印を付けよう。 ・花が重ならないように後ろの花はずらしたほうがいい。 	○スミレの苗を置き、色や位置のバランスを考えるようにする。○色の重なりや苗と苗との幅に注意して位置を決めるよう助言する。	軍手 ジョー ロ
 5 苗を置き、構成を考えて植える。 ○構成 ・スミレの色を考えて植える位置を変えよう。 ・ここは白ばかりだから黄色のスミレと取り替えた方がいい。 ・全体を見て、これでいいと思う。 	○ポットから苗を出す時、根を傷めないようにすることを助言する。○移植ごての使い方に気を付けるようにする。○講師の方やボランティア方々にも児童へのサポートをお願いする。	

- ○スミレの苗を植える。
- ・ポット底の穴を押せば、苗がきれいに 取れた。
- ・ちょうどいい深さに掘るのは意外と難しい。
- ・深く掘りすぎると葉がだめになって育たない。
- ・浅すぎてもだめだね。
- ・花壇の土を踏まないようにして植えよう。
- ・花壇がとてもきれいになった。
- 6 水をやり、大きく育てるために気を付けることを知る。
 - ○水やり
 - ・花にかからないように葉の下の方に水をやればいい。
 - ・今日は植えた日だから、たっぷりかけよう。
 - とても楽しかった。
 - ○育て方(講師の方の話)
 - ・花が咲き終わったら摘み取る。
 - ・水やりの時、花の様子を見る。
 - ○講師・ボランティアの方々にお礼の挨 拶をする。

- ○ジョーロで水やりをし、苗をしっかり植えることができたか確認する。
- ○植えて終わりではなく、継続して世話をしてい くと花が咲き続けることに気付かせ、これから の活動に意欲をもたせる。

2 成果と課題

(1) 今年度「花育」事業に参加し、子供がスミレの苗を植える体験をすることができた。今までにアサガオやミニトマトなどを育ててきた経験はあるが、今回のように、多くのスミレの苗を植えるということは初めてである。

初めは不安げな子どもたちも、千葉 市園芸協会や農園の方、ボランティア の方々の支援を受け、楽しく植えるこ とができるようになった。約700もの スミレの花が花壇に植え終わったとき には満足そうな顔や笑顔が見られた。

- ○子どもたちの感想
- ・スミレを植えることができて楽しかった。大切に育てて行きたい。
- ・家に帰ったらお母さんに教えたい。
- 花を育てるのは気持ちがいい。

- 来年も来てほしい。
- 花があると気持ちが優しくなる。
- わかるように教えてもらったのでやりやすかった。
- 家でも育ててみたい。

(2) 課題

今年度は「花育」事業に参加し、約700ものスミレの花で花壇を整備することができたが、年度当初の予算で、花の苗を確保するのが難しい。 学校園、学年園を計画的に

学校園、学年園を計画的に運営していく必要がある。